



3年生89名が巣立っていきました

新型コロナウイルス感染症への対応により、在校生や来賓の方々とともに、卒業生の晴れの門出をお祝いすることはできませんでしたが、保護者の皆さんに出席いただき、3月12日(金)に、卒業式を行うことができました。1、2年生の皆さんにも、会場周りの清掃や式場づくり、昇降口や3年生の教室の飾りつけなど協力をしてもらいました。卒業生に対する皆さんの思いはしっかりと届いています。ありがとうございました。

コロナ禍の中、式そのものは、時間短縮や感染症対策など、いろいろな制約はありましたが、3年生一人一人の記憶に残る式であったと思います。練習時間も限られた中、ビシッと本番で決める3年生、その力強い歌声に思わず胸が熱くなりました。

卒業式の式辞では、卒業生へのはなむけとして書いた「夢」という文字について話をしました。実際の文字を見てもらうと、カタカナの「タ」の字が一つ多く、こんな文字はありません。しかし、この一文字多い「夢」の字に込めたメッセージについて話をしました。それは、「夢は一つとは限らない。もっともっと多くの夢をもってほしい。」という思いです。人はそれぞれ様々な夢を持っています。自分だけのとっておきの夢もあれば、誰かと同じ夢もあります。「それはすばらしい」と認められる夢もあれば、人には理解されない夢もあるかも知れません。どんな夢であっても、夢をもつことはとても大切なことです。なぜなら、人は夢をもつことで、明日や明後日のことだけでなく、もっと先の自分を想像し、自分の生き方を考えることができるからです。

「一人で見る夢はただの夢、みんなで見る夢は現実になる。」という言葉があります。これはジョン・レノンの言葉です。(原文は、A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality. となります。)

発生から10年を経た東日本大震災からの真の復興も、私たちが直面している新型コロナウイルス感染症の克服も、開催が危ぶまれている東京オリンピック・パラリンピックの開催も、そして飢えや貧困、戦争のない、持続可能なよりよい世界の実現も「みんなで見る夢、みんなで叶える夢」でなくてはなりません。

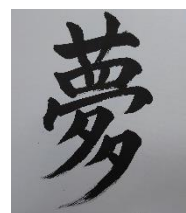
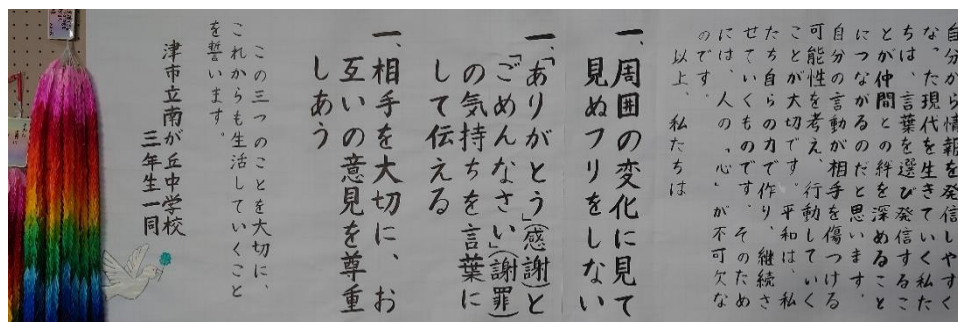
一字多い「夢」は、ジョン・レノンの言葉を借りるなら、一つは、「自分」のために叶える夢であり、もう一つは、「みんな」で叶える夢とも言えます。この二つの夢を探し、求め続けることが人生の目的であってもよいと思います。

どのような状況においても、「夢を叶える」という強い意志を持ち、未来を切り開いていってほしい。そんな気持ちを伝えました。2年生、3年生に進級する皆さんにも、これからの中学校生活の中で、自分の目指す夢を見つけてほしいと思います。

卒業生からのメッセージです

卒業式の会場には、3年生がこれまで取り組んできた平和学習のまとめとして、3年生による「平和宣言文」が掲示されました。広島への修学旅行は叶いませんでしたが、修学旅行に向けて学んだことを、自分たちの今の生活の中での平和宣言としてまとめたものです。実際の

「平和宣言文」を、昇降口から別教室棟に向かう廊下に掲示しましたので、ぜひ一度読んでみてください。



令和3年度に向けて

本年度も残りわずかとなってきました。学校では新年度に向けた準備が始まっています。以前にも紹介しました、GIGAスクール構想の実現に向け、2階～4階のホールにPCの充電保管庫が設置され、一人一台PCも納入されました。納入されたPCはノート型のパソコンで、キーボードを取り外してタブレットとしても使用できるものです。年度内は、使用することはできませんが、新年度になり、準備が整い次第、授業等で活用することができます。すでに、校内高速無線LANの設置工事も完了しており、これまでPC室でしかできなかった授業が、手元にあるパソコンを使って、校舎内のどの教室（体育館を含む）でもできるようになります。先生と生徒、生徒同士の様々なやり取りや、インターネットに接続して情報を集めたり、動画や写真を撮影して活用したりすることも可能となります。



今回配備されたPCは、津市から生徒一人一人に貸与されるものであり、卒業するまで同じものを使うことになります。津市の貴重な財産として大切に使用させていただきたいと思います。

そしてもう一つ、ご存じの方も多いと思いますが、中学校では4月から、改訂された新しい学習指導要領がスタートします。

新学習指導要領について



学習指導要領は、全国どの学校でも一定の教育水準

が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準となるものです。およそ10年に一度改訂され、中学校は来年度がその年にあたります（小学校は令和2年、高等学校は令和4年から）。新学習指導要領では、これまで大切にされてきた、「子どもたちに『生きる力』を育む」という目標は変わることなく、社会の変化を見据え、子どもたちの学びの進化を目指しています。

新学習指導要領では、育成することを目指す資質・能力が3つの柱で整理され、これら3つの資質・能力をバランスよく育むことを目指しています。3つの柱とは、

- ・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- ・未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」

そして、新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点から、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視した授業改善が求められています。

新学習指導要領で目指す授業とは、

- ・見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業

新しい学習指導要領には、学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を共に創っていききたいという願いが込められています。

こうした学習指導要領の改訂に伴い、学習評価の在り方についても、観点別学習状況の評価の観点が整理されるなど、改善に向けた基本的な方向性が示されています。

具体的な評価方法の変更点等については、改めて説明させていただきます。

3月・4月はじめの主な行事予定です

3月18日（木） 県立高校合格発表
22日（月） 1・2年給食終了
25日（木） 修了式

4月6日（火） 着任式・始業式
7日（水） 入学式
8日（木） 給食開始

12日（月）～15日（木） 1年家庭訪問



毎日のお知らせや、子どもたちの学校での様子をホームページに掲載していますのでご覧ください。ホームページアドレス <http://ednet.res-edu.ed.jp/c-minamigaoka/>